

## Weekly Reports 2023-2024



国際ロータリー第2680地区

**Rotary**  
加古川ロータリークラブ



2023-24年度 RI会長:ゴートンR. マツキナリ/地区ガバナー;安行 英文  
加古川ロータリークラブ会長;釜谷 和明 / 幹事;吉田 太郎  
〒675-0064 兵庫県加古川市加古川町溝之口800番地 加古川商工会議所会館5F  
TEL 079-423-0661 FAX 079-423-0677 e-Mail kakogawa@rotaryclub.ne.jp

令和5年5月28日(火) 雨 No. 43



▲会長挨拶



▲浅井会員卓話

### 会長の時間

会長 釜谷 和明

皆さんこんにちは。大雨・洪水警報が発令されている中、5月最後の例会にご出席頂き、ありがとうございます。皆様の備えは大丈夫でしょうか。最近の異常気象や10年に一度で表現される気象状況が毎年おこっており、例年通りに変化してきていると思います。台風1号も発生しています。この時期に大きく日本に影響を及ぼす台風は異例だと思っておりましたが、最近では驚かなくなってきました。昔からこの播磨の地域は災害の少ない地域として考えられていました。その為、気象による危機意識が低く、平々凡々な性格の方が多いと言われてきました。その様な状況は過去の事と考え、危機感を持ち、備えが必要になってきたなと思います。

気象状況だけでなく、経済状況も大きく変化してきております。急激な円安進行や物価・原材料価格の上昇、そして賃上げへの対応と人材確保の問題。会員の皆様の会社や事務所、そして医療関係に会員の皆様も同じ様に対応に追われているのではないのでしょうか。

2023年度の廃業・倒産件数は大幅に増加しました。特に小規模の飲食関係が増えてきているようです。その様な中で、業種転換にて再起を図るお店も多数あり、新たに出店するお店も増えているようです。過去に縛られず、様々な状況を見ながらの対応が求められると思います。その点はロータリー活動も同じかなと感じる今日この頃です。

さて、本日は浅井会員の卓話です。

楽しみにしております。宜しくお願い致します。

以上で「会長の時間」とさせていただきます。本日も最後まで宜しくお願い致します。

## 幹事報告

- 1) 地区ローターアクトより「第1回ウクライナ支援プロジェクト報告会」のご案内を回覧します。お申し込みご希望の方がおられましたら、加古川 RC事務局までお知らせくださいませよう、お願いいたします。
- 2) 次週例会はクラブ協議会(一年間の反省)となっております。各委員長のご出席をお願い致します。ご欠席の場合は代理の方をお願いしておいて下さい。

## 次年度第2回理事会

2024年5月28日(火) 例会終了後～  
於：加古川商工会議所4階 オーバルルーム

### 《審議事項》

- 1) 年間行事予定に関する件  
9/17、3/18、4/1、5/27の例会を時間・場所を変更することで承認。  
時間;19時～20時30分 場所:加古川プラザホテル1階  
(4/1はオークラ輸送機(株))
- 2) 組織表に関する件  
原案通り承認。
- 3) 7月プログラムに関する件  
原案通り承認。
- 4) 納涼例会に関する件  
原案通り承認。エンタメについては次回理事会で協議する。
- 5) ローター財団寄付金額に関する件  
例年通り会員一人あたり110ドル集めることで承認。
- 6) その他  
ゴルフ部設立 部長は瀧川松平会員

## ニコニコ



- |   |   |   |                                       |
|---|---|---|---------------------------------------|
| 省 | 略 | ☺ | 浅井会員、本日の卓話楽しみにしています。よろしくお願ひします。       |
| 省 | 略 | ☺ | 浅井会員、本日の卓話よろしくお願ひいたします。               |
| 省 | 略 | ☺ | 警報が出たら、例会お休みとか無理ですよねえ(泣)              |
| 省 | 略 | ☺ | 浅井会員、卓話「資産運用のお話し」楽しみにしています。           |
| 省 | 略 | ☺ | 浅井さん、卓話楽しみにしています。                     |
| 省 | 略 | ☺ | 岡田さん、先日はありがとうございました。                  |
| 省 | 略 | ☺ | 浅井会員、本日の卓話楽しみにしています。<br>半月板の話もお願ひします。 |
| 省 | 略 | ☺ | 浅井さん、卓話楽しみにしています。                     |
| 省 | 略 | ☺ | 浅井会員、卓話楽しみです。                         |
| 省 | 略 | ☺ | 岡田部会長、先日はありがとうございました。                 |
| 省 | 略 | ☺ | 今日テーマ大変興味あります。浅井会員楽しみです。              |
| 省 | 略 | ☺ | 本日卓話させて頂きます。よろしくお願ひいたします。             |
| 省 | 略 | ☺ | 浅井さん、お金の話し楽しみです。                      |
| 省 | 略 | ☺ | 結構記念日の当日にお花いただきました。<br>ありがとうございました。   |

- 省 略 ☺ 浅井会員、卓話楽しみです。宜しくお願いします。  
 省 略 ☺ 浅井さん、卓話楽しみにしております。勉強させていただきます。  
 省 略 ☺ テーブルの花いただきます。

以上17件 ¥20,000-  
 本年度累計¥1,942,000-

### 出席委員会

- ☆ 今 週 会員数 75 名 出席 38 名 出席免除 16 名 欠席 21 名  
 ☆ 欠 席 者 省略  
 ☆ 前 々 週 会員数 75 名 出席 49 名 出席免除 13 名 欠席 13 名

### 親睦活動委員会

例会場当番

- 6月 4日(火) 吉川、大山  
 6月11日(火) 桑田圭、坂本



### プログラム委員会

本日5月28日(火)	6月4日(火)	6月11日(火)	6月18日(火)
卓話 「資産運用の お話し」 浅井担当	クラブ協議会 一年間の反省	卓話 「お金の育て方ガイド 可愛い子には 旅をさせよ」 水河担当	例会変更(日時・場所変更) 最終例会 13日(木)午後6時～ 於;加古川ゴルフ倶楽部

### 6月のおよろこび

- ◆ 誕生日祝 省略
- ◆ 結婚記念日祝
- ◆ 出席表彰
- ◆ 会社創立記念日

ロータリー国際大会で環境問題とソリューションが焦点

シンガポール国際大会の3日目には環境問題と  
 企業の責任にスポットライトを当てる

文: Etelka Lehoczky、Rose Shilling

シンガポールで開催中の2024年ロータリー国際大会、3日目は環境保護を中心的テーマとし、世界を探検する環境保護家による講演や環境に焦点を当てた分科会が行われました。第2回本会議では、ナチュラルリストで起業家のナチョ・ディーオンさんが、環境問題の取り組みにおける社会や企業の責任を強調しました。

気候変動に関する啓発のために世界で33,000Km(4大陸、31カ国)を歩き、5大陸間を泳いだディーオンさんは、環境危機の緊急性について話しました。

「遠征中に私が目にしたのは、この地球の目を見張るほどの美しさ、そして、その地球が温暖化や生態系の多様性の喪失、プラスチック汚染など人間の行為によって苦しめられているという二つの側面でした」とディーンさん。「環境の健全さと人間の健康には、直接的な関係があります」

環境問題が多くの人びとの生活に困難と苦痛をもたらしていることを、ディーンさんは説明しました。

「気候変動、騒音公害、大気汚染と化学汚染は、私たちに物理的な影響だけでなく、メンタルヘルスへの影響も与えています。社会をより健康にしたいのなら、地球の健全さをもっと大切にすることが必要不可欠です」

もう一人の講演者、クレア・チャンさんは、企業の責任の重要性について話しました。チャンさんは、国際的なホスピタリティ企業である Banyan Group の共同創設者で、Suntec City ロータリークラブ(シンガポール)会員です。

「私たちに必要なのは”よりよい世界”ではありません。必要なのは、よりよく生き、働くにはどうすればよいかを知ることです。社会が衰退すれば、企業が生き残ることはできません。企業と社会の間に緊張をもたらすのではなく、相互に支えあうための意識的な協力が必要です」

今大会では、プラスチックごみ問題、気候変動対策、淡水保全のためのコミュニティアクションなど、環境をトピックにした数々の分科会も行われました。

絶滅危惧種に関する分科会では、動物保護と環境への関心を、ロータリー会員基盤増強の取り組みとどのように結び付けられるか、という質問が会員たちから寄せられました。これに対し、環境は多くの若者が関心を持つ問題であり、これに注力することで若い世代の入会やローターアクターの奉仕への関心を促すことができるという意見がほかの会員たちから出されました。

また、ローターアクターのために環境保全ツアーやボランティア活動の機会を提供するという提案もありました。これにより、ローターアクターが生態系喪失の問題を直接目にし、その回復に貢献する機会を得ることができます。

出席者の一人、トーマス L. トクターマンさん(米国、シュラン・ロータリークラブ会員)は、このアイデアが、「若い世代に”環境への愛”を育む責任が自分たちの世代にある」という自身の信念に一致していると感じたと言います。トクターマンさんは、アフリカでサイの密猟防止に取り組む非営利団体「Rhino Mercy」を運営しています。

「野生動物に対する犯罪の長期的な解決策は、今の世代ではなく次世代にあるからです」とトクターマンさんは言います。

一方、ミナ・ヴェンカタラマンさん(インド、ニルジリス・ウェスト・ロータリークラブ会員)は、インド南部でのコンドル保護の重要性について発表しました。彼女はコンドルを「森の掃除屋さん」と呼び、農作物や家畜を守るために農民たちが仕掛けた独餌で死んだ猫科動物や象の死骸をコンドルが食べ、死んでしまう現状について話しました。

絶滅危惧種のためのロータリー行動グループには、専門知識を持つメンバーが 1,000 人以上います。同グループから参加したパネリストたちは、これらのメンバーがロータリー会員による動物保護の取り組みを後押しできると述べ、プロジェクトやアイデアについてグループに連絡を取ることを出席者に呼びかけました。



シンガポールで開催中のロータリー国際大会で司会を務めたハレッシュ L. ラムチャンダニさんとルイーザ・リーさん。第2回本会議にて。



シンガポールで開催中のロータリー国際大会で、友愛の家で訪問者に挨拶するマリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ国際ロータリー会長ノミニ



シンガポールで開催中のロータリー国際大会で歓談する出席者たち。